

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行
No.

47

発行日：平成29年1月15日(日)
(2017年)

地域企業紹介 [その 47]

相模原菓子工房 ら・ふらんす

家族を幸せにする お菓子づくりを

相模原市中央区横山台にある相模原菓子工房「ら・ふらんす」横山台店に代表取締役社長の村中昭文さんを訪ねました。村中社長は九州の天草に生まれ、父親は近海のイワシやアジなどをとる巾着船の網元をしていたそうだ。村中さんは地元の高校を卒業後、漁師の道は選ばず、親族の紹介で船橋にあった製菓店に就職する。大きな工場のような製菓店だったので「ここでは腕が上がらない」と思い、調布や吉祥寺などで洋菓子やお洒落なレストランを展開していたストロベリーファームに飛び込み、働くことになる。そこで4年間、洋菓子、アイスクリーム、チョコレート、パンの製造をがっちり学ぶ。その頃はアメリカからハーゲンダッツが日本に上陸して話題になっていた頃で、村中さんもその美味しさに衝撃を受けたそうだ。ハーゲンダッツに負けないアイスクリームを作りたいという経営者の命を受けて米国に研修にも行き、210種類ものアイスクリームを食べて回ったそうだ。

その後、先輩が開いた藤沢湘南台の洋菓子店に移る。ストロベリーファームも湘南台のお店も立地に恵まれ、最新の洋菓子がお客様に受け入れられる繁盛店で、村中さんはもっぱら商品開発と製造の現場を任せられていた。

接客や経営の勉強もしたいと思い、愛川町にあった「ガトウミヤ」という店主と売り子だけの小さな洋菓子店に移る。入店当時はショートケーキ、モンブラン、チーズケーキといった定番の洋菓子主体のごく普通の洋菓子店だったが村中さんはショコラやムースといった目新しい洋菓子や焼き菓子を開発し、店頭にも積極的に出て、売り上げを大きく伸ばしていった。売ることの大変さや接客のコツのようなものをここで学んだ。

(2面につづく)

相模原菓子工房 ら・ふらんす

代表取締役 村中 昭文 (むらなか あきふみ)

所在地：相模原市中央区横山台2-9-25

従業員数：24名 売上高：4億円

事業内容：洋菓子製造・販売・カフェ



そして、1995年に現在の横山台店のすぐ近くに中古のオーブン1台とショウケース1台を買い、奥さんとスタッフと3人で切り盛りする小さな洋菓子店を開業する。お店は最初から順調で売切れで閉店といった毎日が続いたそうだ。村中さんは「千円札1枚で家族4人が楽しめる」そんなお店を目指したそうだ。カリッとした歯ごたえが心地良い1個120円の「横山シュー」も爆発的に売れ、1日睡眠が2時間、朝は5時から働き詰めの日々が続いたそうだ。売上は初年度から四千万円を超える、4年目には1億円に。

手狭になったため、長年思い描いてきた理想の洋菓子店を自ら設計し、2000年に現在の地に新店舗をオープンさせる。この店もお客様が徐々に増えていき製造と接客が追いつかなくなり、2006年に城山に新たな店舗をオープンさせている。

クオリティーの高い洋菓子を手頃な価格で提供するという開業当時の姿勢は今も変わらない。だから、震災で大きく消費が落ち込んだ時も売り上げは落ちず、着実に成長を続けているのだろう。人や材料、設備への投資を惜しまず続けたため、社長自身は15年間、愛川町の古いアパート暮らしを続けたそうだ。

今、社長は焼き菓子の商品開発に力を注いでいる。焼き菓子の商品化はとても難しく、材料、その配合、焼き時間を変えた試作を繰り返し、着想から商品になるまで3、4年はかかるという。バ

ターカステラやバームクーヘンも商品化し、とても評判がいい。

レストラン、パン、洋菓子をトータルで提供するお店を持つことを目標としていた時期もあったが今は規模を追わず、地域のお客様に愛されるお店、地域になくてはならないお店であり続けたいと強く思っている。

人はごはんの炊けた匂いやお風呂が沸いた匂いで家庭の温かさや幸せを感じる。お菓子を食べたときも同じだ。「ら・ふらんす」もそんな幸せを感じる美味しいお菓子を相模原の地で創りつづけて欲しいと願う。



(左) 相模原菓子工房 ら・ふらんす外観・内観 (右) 横山シュー

「人のためになるデザインをする！」 地域や会社の発展にデザインの力を活かす

TRIAND Inc.

Webやグラフィックデザイン、アプリのインターフェイス、企業プランディングを手がけている、株式会社トライアンドの小橋社長にお話を伺いました。

当社は2006年に相模原で創業し、2011年に法人化しました。創業当初は相模原市内企業を中心に関連、Webサイト、グラフィックデザインなどを手掛け、経験を重ね現在は、行政、企業、大学などからのデザイン業務も行っています。扱うデザイン領域もひろがり、アプリやワークショップのデザイン、トータルなデザインを提供することで可能となる企業のプランディング、事業サービス(UX)のデザインにも取り組んでいます。特徴的なところとして、クリエイントと対話しながら共に創り上げていく、絵を使った対話型のコミュニケーションを大切にしています。

創業時から「さがみはらから世界へ」という想いがあり、デザインやクリエイティブ活動の新しい場として「橋本デザイン会議」というものを立ち上げました。「橋本デ



ザイン会議」は、クリエイター、企業、学生、地域コミュニティなどがそれぞれの分野の垣根をこえて議論し活動する場をつくることで、新しい価値を創り上げる試みです。具体的な活動として、企業と学生をつなぐデザインアワードの開催、デザイン相談、ワークショップ、シンポジウムや座談会などを行っています。

今後は、社内外のクリエイターの結集や育成、地域の人々との協働によるクリエイティブでの問題解決を積極的に推進したいと考えています。創業当時の「人の

ためになるデザインをする！」という想いからはじまり、この信念と積み上げてきた経験と、多くのクリエイターとの出会いが「橋本デザイン会議」となりました。この相模原エリアが、日本でも有数のクリエイティブ活動の中心のひとつとして活性化され、社会がよくなる1つの要因としてデザインの力が生きるようにしたいと思っています。

年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

新年のスタートにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年のお正月は第92回箱根駅伝で青山学院大学が完全優勝2連覇という明るい話題で幕開けとなりました。その後東京株式市場では史上初となる年初から6営業日続けて値下がりし、1万8千円を割り込む世界的な株安連鎖となりました。また、1月下旬には日本銀行が物価上昇率を2%に近づけたい意向から金融機関が日銀に預け入れる際の金利を0.1%からマイナス0.1%に引き下げる金融政策を実施し、こちらも史上初めて長期金利が0.1%を割り込みました。

その他、電力小売り自由化、台湾企業による国内大手電機メーカー買収、女性の東京都知事誕生など年初より史上初といわれる出来事が多かったように感じます。

そんな中、津久井「やまゆり園」では過去に類を見ない多くの尊い命が奪われるという極めて残虐で衝撃的な事件が起こりました。被疑者の心理は定かではありませんが、措置入院退院後も極めて不安定な精神状態が続いていると考えます。現在被疑者は精神鑑定中のことですが、このような悲惨な事件が二度と起こらないことを願うばかりです。

一方、現代社会において、物事が多様化・高度化する中で生活環境や労働環境が変化し、人々に与える精神的影響も非常に大きくなっています。その結果、ストレスや気分障害などの精神疾患を引き起こすケースが増加している状況です。精神保健福祉分野の専門家によれば医療・看護・介護問題に加え、心の問題ケアを多職種で地域包括的に行っていくことが重要だと言われています。

こうしたケアマネジメントは中小企業でも積極的に取り込み、従業員のメンタルヘルスケアなどに関する知識を深め実践していくことが、今後さらに求められてくるのではないかでしょうか。人間の尊さというものを真に理解することは勿論、心身ともに健康な人を得てこそ、企業の発展も望めるものだと思います。まさに「企業は人なり」と言われる所以ではないでしょうか。

さて、今年はどんな年になるでしょうか。

正月恒例の箱根駅伝は青山学院大学が3連覇し、神奈川大学も総合5位と大いに健闘され、今年の幕が切っておとされました。

海外では米国の次期大統領であるトランプ氏の政権運営の行方や中国経済の減速予測、イギリスの欧州連合(EU)離脱による影響やロシアとの経済協力の進展度合いなど様々なリスクや課題を内包しています。一方、国内では東京オリンピックを控えた需要の盛り上がり効果が期待され、公共投資や首都圏での再開発案件の増加による景気の押し上げが期待されています。いずれにしても一つ言えるのは経済動向に左右されない自社の圧倒的な強みを最大限生かし、企業競争力を着実に高めていくとともに、中長期的な視野に立ち、しっかりと事業基盤を構築していくことが大切ということでしょう。

さがみはら産業創造センター(SIC)は平成11年の設立以来、多くの方々に支えられ現在に至っており、今年で18期目を迎えます。長年に亘りSICをご支援頂いた方々に心から感謝御礼申し上げます。

今後、人も技術もさらに進化し、世界が大きく変わっていくはずです。ここ橋本・相模原駅周辺においても大規模な都市整備事業が計画されています。そうした中、今後10年から15年後の相模原地域、そして世界を確りと見据え、入居企業並びに地域企業の皆様の成長発展に繋がるような事業活動に取り組んでまいりたいと考えております。

結びにあたり新しい年が皆様方にとりまして、さらなる「飛躍」の年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

どうか、本年も宜しくお願ひ申し上げます。

株式会社 さがみはら産業創造センター

代表取締役 橋元 雅敏



龍門飯店

橋本五差路から津久井方面、朱色の柱が特徴の龍門飯店です。1976年から地元の人に愛され40年、変わらぬ味とメニューは、常連のお客さんが親子三代で来店されるまでになりました。人気のオリジナルメニュー三品は、どれも深みがあり、また食べたくなる味。特製龍門麺は、たっぷりの具とビリ辛のあんかけが絶妙です。豚肉、たけのこ、ピーマンの大きな具材を丁寧に仕上げた中華定食は、とてもごはんが進みます。常連の方が好むカツカレーは、長年の隠れ人気メニューです。35名までの大小宴会もできます。オリジナルのジャンボ餃子も大人気のこと。取材スタッフ一同、大満足でした。吃飽了、謝謝。(稻垣)

神奈川県相模原市緑区西橋本1-19-16 電話: 042-774-1176

営業時間: ランチ 11:00-14:30(ランチ営業、日曜営業) ディナー 17:00-20:00(宴会の場合は応相談) 定休日: 水曜日





The HINT32

雇用を始める前のチェックポイント
～知っておきたい労働法の”基礎のキホン”～

今回のセミナーでは、かながわ労働センター県央支所の安藤氏を講師に迎え、実際の相談事例を交えながら、従業員とのトラブルを回避し、自社の成長につながる人材採用のポイントを学びます。

日 時：平成29年2月8日(水)17:30～19:00
場 所：さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室
費 用：無料 定員：20名(先着順)

第12回創・蓄・省エネフォーラム

今回は、次世代の電力安定供給を推進する企業、新たに水素・燃料電池産業参入へ挑戦するベンチャー企業及び燃料電池及びそのシステムの開発を支える共通基盤的な研究と普及拡大を推進するために企業・大学・研究機関などオールジャパンで構成された技術研究組合の方々にそれぞれの取組みや皆様への提案などについてご講演いただきます。

日 時：平成29年2月21日(火)13:30～17:00
場 所：サンエール・さがみはら2F 第一研修室
定 員：80名 参加費無料

講演1：『再生可能エネルギー電力の地産地消について』
湘南電力株式会社 企画営業課 藤田 雅大 氏

講演2：『環境エネルギー・ベンチャー企業
水素・燃料電池産業参入への挑戦』
株式会社 ER SYSTEMS 代表取締役 原 真吾 氏

講演3：『FCVの開発と普及拡大に向けた動向及び新規参入のポイント』
技術研究組合FC-Cubic 専務理事
(元トヨタ自動車株式会社 FC開発部 部長)大仲 英巳 氏



2017.1 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

2月 8日(水)	The HINT32(SICミニセミナー)
2月 14日(火)・16日(木)	ロボット操作教育セミナー実践編
2月 21日(火)	さがみロボット産業特区 ロボット展
2月 21日(火)	第12回 創・蓄・省エネフォーラム
2月 23日(木)	サガツクナビ 職種探査セミナー2017
2月 27日(月)	第37回南西フォーラム
3月 9日(木)	サガツクナビ ジョブミーツ10th(厚木会場)
3月 17日(金)	生産性向上のためのIEセミナー
3月 24日(金)	サガツクナビ ジョブミーツ11th(町田会場)
4月 4日(火)	サガツクナビ ジョブミーツ12th(橋本会場)
4月 6日(木)～	平成30年2月23日(金)みんなで一人前の社会人になる研修



入居企業を募集しています。

SIC空室情報(平成29年1月10日現在)※お気軽にお問い合わせください。

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1	○スマートオフィスA(23.6m ²)	1 78,700円
	○スマートオフィスB(17.3m ²)	1 64,200円
	○セミラボA(47.3m ²)	1 140,600円
	○セミラボB(35.5m ²)	1 98,400円
	△セミラボB(35.5m ²)	1 98,400円
	2017年3月以降入居可能です。	
△ラボ(94.5m ²)	1 246,600円	
	2017年5月以降入居可能です。	
SIC-2	空室はありません	- -
SIC-3	空室はありません	- -



IoT時代のロボット活用技術入門

～ORiNを活用したパソコンによるDENSOロボットアームの制御～

今回は、工場の情報システム化として、パソコンと現場のロボットを連動させる場面を想定し、VBAを使用したロボットアームの制御、Excelとのデータ連携を行う手法を学習します。

コース：ロボット操作教育(実習コース)

日 時：平成29年2月14日(火)、16日(木)※同じ内容を2日間開催

場 所：さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室

募集人数：8名(各日4名) 参加費無料

申込期限：平成29年1月31日(火)

平成28年度「さがみロボット産業特区」ロボット展

公募型「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業報告会

平成28年度公募型「ロボット実証実験支援事業」及び重点プロジェクト報告会を開催いたします。

当日は、プロジェクト支援企業様による展示やデモ、体験会を行います。

日 時：平成29年2月21日(火) 10:00～16:30 参加費無料

場 所：ユニコムプラザさがみはら(bono相模大野サウスモール3階)



生産性向上のためのIEセミナー

IE(インダストリアル・エンジニアリング)についての基本的な考え方と仕事の分析・改善に関して、実例や演習を用いて分かり易く学びます。

日 時：平成29年3月17日(金) 10:00～17:00

場 所：さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室

講 師：青山学院大学理工学部経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏

募集人数：10名(先着順) 参加費無料

申込期限：平成29年1月31日(火)

第2期

みんなで一人前の
社会人になる研修。

4月、いよいよ若い力が始動します。新しい若い力を躍動させるために、今年も本研修を開催いたします。

日 程：平成29年4月6日(木)～平成30年2月23日(金) 全5回

対 象：平成29年4月入社の新入社員の方

受 講 料：98,000円(消費税別。教材費、情報交換会費含む)

定 員：定員16名(先着順) 場所：さがみはら産業創造センター他

詳しくは、SICホームページをご覧ください。
<http://www.sic-sagamihara.jp>

謹賀新年

今年の干支の丁酉(ひのとり)は、上の「丁」が下の「酉」を剋する組み合わせで、干と支に矛盾が感じられる年なの

だそうです。自分の力に過信することなく慎重な一步が

良いようです。新しい年が皆様にとって幸多き年となりますよう。

本年も地道に「かわらばん」をお届けしてまいりますので、よろしくお願ひいたします。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>